

『雪氷』 投稿規程

執筆要領

投稿票

著作権譲渡承諾書

査読指針

編集流れ図

(2018年1月改訂)

主な変更点

1. 投稿規定 1-1 「これまでに『雪氷』や他の学術誌で公表されたことがなく」を追加した。
2. 投稿規定 1-2 本学会の会員から推薦があり、雪氷編集委員長が認めた場合には、会員外からも投稿可能とした。
3. 執筆要領 1-6 JIS Z8201 が Z8202 に変更されたことに伴い、変更した。
4. 執筆要領 1-7 JIS Z8201 が Z8202 に変更されたことに伴い、変更した。
5. 執筆要領 4-5 著者が6名以上の場合、6番以降の著者を省略して記載できることを明記した。
6. 執筆要領 4-6 記載しづらい引用文献の例（doiを記載する文献、国際会議の Proceedings）を追加した。
7. 執筆要領 4-7 単行本の場合の編者の引用方法を用例に追加（和文および英文）した。
8. 執筆要領 4-8 インターネットの掲載された文献の引用方法を追加した。

日本雪氷学会『雪氷』投稿規程

2018年1月改訂

『雪氷』は日本雪氷学会の会誌であり年6回発行される。会員は以下の規程に従って自由に投稿が出来る。

1. 投稿の原則

- 1-1. 投稿原稿はこれまでに『雪氷』や他の学術誌で公表されたことがなく、その内容が日本雪氷学会の会誌にふさわしい内容であること。
- 1-2. 投稿者は日本雪氷学会の会員とする。連名による投稿の場合は共著者のうち1人は本学会員であること。なお、本学会の会員から推薦があり、雪氷編集委員長が認めた場合には、会員外からも投稿可能とする。
- 1-3. 連名による投稿の場合、筆頭著者以外の著者も和文では「問合せ先」、英文では「corresponding author」に指定できる。
- 1-4. 掲載された論文等の著作権は日本雪氷学会に属する。
- 1-5. 投稿原稿は和文または英文に限る。
- 1-6. 著者は執筆要領に従って作成した原稿と所定の投稿票を電子メールにて投稿すること(以下、「電子投稿」という)を基本とする。投稿方法の詳細は投稿規程4章「電子投稿の要領」を参照のこと。
- 1-7. 電子投稿が難しい場合は、雪氷編集局(最新号の最終頁参照)と相談すること。
- 1-8. 投稿に際しては、著作権譲渡承諾書に自筆署名の上、PDFファイルとして雪氷編集局宛に電子メールにて送付すること(雪氷編集委員長宛に郵送してもよい)。

2. 投稿原稿の種類および長さ

2-1. 原稿の種類

査読付原稿

- [1] 論文：雪氷学に関係した研究成果をまとめたものであり、その長短にかかわらず独創性、信頼性があり学術的価値のある内容で完結した原著研究報告。(査読者2名)
- [2] 速報：速報性を重要視した原著研究報告。(査読者2名)
- [3] 研究ノート：論文に準ずるが、論文に至る前段階の研究報告。(査読者1名)
- [4] 報告*：調査、観測、試験、実験、災害事例等の各種報告。
- [5] 解説*：専門分野外の読者を対象に解説したものの。
- [6] 総説*：これまでの研究成果を分析し、将来の展望をまとめたもの。
- [7] 討論*：本誌に掲載された論文・速報・研究ノートに対する会員・読者からの質疑・意見・議論などで、掲載後6ヶ月以内のもの

を対象とする。

[8] 最近の研究から*：最近のホットな話題又は展望についてそのエッセンスを簡潔に紹介したもの。

[9] 講座*：雪氷学に関する基本的、応用的問題を平易に解説したもの。連載も可能。

*編集委員1名による準査読あるいは査読者1名、一般原稿

[10] 雪氷写真館：雪氷に関する写真およびその説明。

[11] 雪氷機関ニュース：雪氷に関する研究、業務、展示、教育等の機関の紹介やその最近の活動ニュース。

[12] シンポジウム報告：国内外で開催された雪氷関係のシンポジウム参加報告。

[13] 研究の道標^{みちしるべ}：後進のために自身の研究を紹介するもの。関連する分野の残された問題を扱ってもよい。

[14] エッセー：雪氷に関する随筆や随想。

[15] 談話室：雪氷に関する諸問題や雪氷現象にかかわるトピックスの紹介など。

[16] 滞在記：国内外の特定の地域に滞在した際の見聞・体験記、紀行文。

[17] こぼれ話：雪氷関係の研究、調査、作業、旅行などの余話。

[18] 質問箱：雪氷に関する質問を平易に解説したもの。

[19] 新刊紹介：雪氷に関する新刊図書を紹介した記事。

[20] 会員の広場：一般会員、賛助会員から学会および会員への提言、意見および周知等。

[21] 支部だより：学会支部に関する記事。

[22] 分野ニュース：分科会等に関する記事。

[23] その他

2-2. 原稿の長さ：論文、総説は刷上り16ページ以内、速報、研究ノート、報告、解説、講座は刷上り10ページ以内とし、その他は原則として4ページ以内とする。超過ページが認められた時には、超過料金を徴収する。なお刷上り1ページは22字・43行2段組みである。

2-3. 原稿の書き方は執筆要領に従うこと。

3. 掲載料等

3-1. 掲載料：論文、速報、研究ノートは、刷上り1ページあたり5,500円の掲載料を徴集する。上記以外の掲載料は無料とする。ただし、研究費等からの支出が困難な場合にはこの限りではないが、あらかじめ雪氷編集局と相談すること。

3-2. 超過料金：査読付原稿、一般原稿を問わず、

2-2 で示された規定ページ数を超えた場合の掲載料の超過料金は1ページあたり10,000円とする。

3-3. カラーページ：査読付原稿，一般原稿を問わずカラーページの掲載料を15,000円とする（雪氷写真館を除く）。

3-4. 別刷り料金：1ページ，1部あたり10円とする。希望者は30部以上で申し込むこと。

（例1）論文20頁・別刷り100部のとき

掲載料＝掲載料単価×頁数＋超過料金×超過頁数
 $=5,500 \times 16 + 10,000 \times 4 = 128,000$ 円

別刷り料＝別刷り料単価×頁数×部数＋送料*
 $=10 \times 20 \times 100 + 1,000^* = 21,000$ 円

合計：149,000円

（例2）論文6頁（内カラー1頁）・別刷り50部のとき

掲載料＝掲載料単価×頁数＋カラー掲載料×頁数
 $=5,500 \times 5 + 10,000 \times 1 = 37,500$ 円

別刷り料＝別刷り料単価×頁数×部数＋送料*
 $=10 \times 6 \times 50 + 1,000^* = 4,000$ 円

合計：41,500円

*別刷りの送料は部数と頁数による。

4. 電子投稿の要領

4-1. 投稿時の原稿のファイル形式は、WORD ファイル，またはPDF ファイルを基本とする。それ以外の形式を希望する場合は編集局に相談すること（seppyo-editor@seppyo.org）。

4-2. ファイル名は「投稿原稿種類_著者名_日付_原稿（または図1や投稿票）.doc」として，可能ならば，原稿と図を一つのファイルとすること。難しい場合は，本文と図のファイルを分けてもよい。

例) 論文_高橋_041025_原稿.doc
 滞在記_佐藤_041105_投稿票.doc
 論文_田中_060205.pdf

4-3. 原稿および投稿票は，以下の電子メールアドレスに添付ファイルとして送ること。

seppyo-editor@seppyo.org

4-4. 投稿メール1通の最大容量は2MBとして，

自動分割機能は使わないこと。査読付原稿の初めての投稿では図版精度を落とすか，複数回のメールで原稿を送ってもよい。送るメールの表題には【雪氷投稿】をつけること。

5. 原稿の最終投稿の要領

電子媒体のファイル形式はWORD ファイルを基本とする。本文のPDF ファイルのみでの投稿は認めない。上記以外の形式を希望する場合は雪氷編集局に相談すること。

原稿は，所定の印刷書体（執筆要領1参照）で記載され，図の挿入箇所が朱字で書き入れていること。

6. 原稿の取扱い

6-1. 雪氷編集委員会が原稿を受け付けた日を受付日として著者に通知する。但し，投稿規程に従っていない原稿は受け付けない。

6-2. 論文，速報，研究ノートの受理は，査読者の意見にもとづいて雪氷編集委員会が決定する。その他の原稿は雪氷編集委員会で掲載の可否を決定する。

6-3. 雪氷編集委員会は著者に対して記事の種類の変更や原稿の修正，加筆を求めることができる。

6-4. 査読付き原稿については，雪氷編集委員会が掲載を決定した日を受理日とし，掲載予定の巻，号を付記して著者に受理通知を出す。

6-5. 掲載巻・号の順序は原則として受理日順とするが，編集の都合でその順序を変えることがある。速報は可能な限り最新の号に掲載する。

6-6. 著者校正は特別の場合を除き初校に限る。著者校正は誤植の訂正だけとし，文章，図表の訂正及び内容の変更は認めない。校正刷りは3日以内に返送すること。期限に遅れた場合は雪氷編集委員会の校正をもって校了または次号へ掲載となることがある。

7. 掲載原稿 PDF ファイルの提供

掲載された原稿のPDF ファイルは査読つき原稿，一般原稿を問わず無償で著者に提供可能である。

各種原稿の必要事項一覧表（○は必要，△は注2を参照）

和文原稿の場合 ¹⁾	論文，速報	研究ノート	報告	解説	総説	討論，最近の研究から，講座	雪氷写真館	その他
投稿票	○	○	○	○	○	○	○	○
査読者数	2	1	△ ²⁾	△ ²⁾	△ ²⁾	△ ²⁾		
表題等を独立頁にする	○	○	○	○	○	○		
英文表題・氏名・所属	○	○	○	○	○	○	○	
キーワード（和文・英文）	○	○	○	○	○			
和文要旨（500字以内）	○	○	○	○	○			
英文要旨（250語以内）	○	○						

注：1) 本文が英文の原稿では，要旨・表題の和文・英文の必要事項が逆になる。

2) 編集委員1名による準査読あるいは査読者1名。

執筆要領

2018年1月改訂

1. 原稿用紙と文字

- (1) 用紙はすべてA4判とする。和文の場合、横書きとし、1頁当たり22字×43行（左右とも50mm程度の余白）で作成した原稿が望ましい。これが刷上り1段に相当する。英文原稿の場合には、行間隔をダブルスペースとし、余白として上下左右をそれぞれ約30mmあけること。
- (2) 句読点は「,」と「.」を用いる。
- (3) 表題・章・節は次のようにゴシック体とする。
(表題) 水資源としての雪
(章) 2. 流域降水量の予測
(節) 2.1 井上・横山のデータ
- (4) 数字はアラビア数字を用いる。金額以外の数字では、桁区切りのカンマは入れない。単位は原則として、国際単位系(SI)を用いる。ただし、実用上や特殊分野では他の単位を併用してもよい。単位は ms^{-1} 、 kg m^{-3} のようにベキ指数で表記し、半角1文字空けて単位の積を表す。印刷書体は立体(ローマン体)とする。
- (5) 数式は上下に1行ずつあけて明瞭に書く。数式のあとには(1)、(2)などの番号をつける。本文中での引用は式(1)、式(2)などとする。
- (6) 演算記号は、原則立体とする。例： $\ln z$ 、 $\exp(k\rho)$ 、 $e^{k\rho}$ 、 $\lim f(x)$ 。詳細はJIS Z8202-0:2000を参照。
- (7) 量・数を表す記号、変数はイタリック、その他は立体とする。添字も同様とする。例： c_p (p :圧力)、 Σa_n (n :順序数)、 σ_x (x :座標)、 ρ_i (i :氷)、 $T_{1/2}$ ($1/2$:半分)。詳細はJIS Z8202-0:2000を参照。
- (8) 動植物の和名、外来語、外国の地名、人名(原語によらない場合はカタカナ)、学名はイタリックを用いる。
- (9) 論文等では、そのほかの書体(特に英文)は最近の「雪氷」を参考にすること。

2. 原稿の書き方

2-1 論文、速報、研究ノート、報告、解説、総説、最近の研究から、討論などの原稿(査読付原稿)

- (1) 表題・著者名・所属機関とその住所を原稿用紙1枚に記入し第1頁とする。表題はあまり長くないように留意し、20字(英文は10語)を超えるときは、必ず省略題名(running title)(見出し用)をつける。共著者の所属機関が異なる場合には、著者名の右肩に^{1,2,3}をつけ、それぞれ機関名と住所を記入する。
- (2) 和文原稿は、別紙に英文の表題・著者名(略さずに名・姓の順。但し中国の著者は姓、名の順でもよい。姓は全部大文字)・所属機関・住所(Japanは不要)を記入する。

例: Mass balance studies on Chongce Ice Cap
in the West Kunlun Mountains
Yutaka AGETA¹

¹ Water Research Institute, Nagoya University, Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya, 464-8401

- (3) 英文原稿の場合は、別紙に和文による表題・著者名・所属機関とその住所を記入する。
- (4) 「問合せ先」および corresponding author は著者名の右肩に*印をつけ、当該著者所属の最後に「*問合せ先:」、[*corresponding author:]としてメールアドレスを記す。
- (5) 和文の論文、速報、研究ノートでは、和文要旨(500字以内)をつけ、さらに別紙にその内容に対応した英文要旨(Abstract)(250語以内)をつける(表題・著者名・所属・キーワードも含む)。英文の場合は、英文要旨をつけ、別紙に和文要旨をつける。
- (6) 報告、解説、総説は、和文には和文(500字以内)のみ、英文には英文(250語以内)のみの要旨をつけること。
- (7) 論文、速報、研究ノート、報告、解説、総説には3~5語のキーワードを和文とそれに対応する英文の両方ともつける。
- (8) 原稿につけるページは、表題等を第1ページとし、以下要旨とキーワード(和・英)、本文、引用文献、英文表題・著者・所属・要旨*、表、図説明、図版の順に並べ、すべて通し番号とする。(本文が英文原稿の場合、*印は和文となる。)

2-2 滞在記、談話室などの一般原稿

特に定まった様式はないが、最新号を参照し簡潔に書く。

3. 図・表

- (1) 図(写真も図とする)・表は必ず別紙(A4判)とし、それぞれ通し番号(図1、表1)をつける。図・表の隅に著者名(主著者)を記入する。本文当該位置の右欄外にそれらの番号を朱書して挿入箇所を明示し、本文に図版用の余白を作らない。図の説明は別紙にまとめる。なお、和文原稿では図・表の表題、説明に英文を併記してもよい。
- (2) 図は、刷上りのほぼ2~4倍の大きさで白地に黒色で作成する。なお、図はページ幅(140mm)または半ページ幅(65mm)に組むのが普通であり、この縮尺を考慮して図中の文字などは大きめに書くこと。刷上りの大きさに希望があれば、図の隅に明記する。
- (3) 表の表題は表の上に、注は下に記載する。
- (4) アート紙を用いる図・写真(カラー・白黒)は、その必要性が認められた場合に掲載できるが、

経費は著者の負担とする（投稿規程3章参照）。

4. 引用文献

- (1) 引用文献は必ず本文中で引用され、本文中で引用したものは必ず文献中になくしてはならない。
- (2) 引用の範囲は、必要かつ十分であるように注意する。私信、報告書、未発表資料など一般の人が入手しづらい文献の引用はできるだけ避け、引用する場合には、その内容を本文中または脚注に簡潔に記す。

- (3) 本文中の引用は次の例にしたがい、著者の姓（まぎらわしい場合は名も併記）、発表年、必要ならば引用ページを書く。

・複数著者：（2人の場合）

小林・佐々木（1985）によれば、……の結果を得た（Abe and Sato, 1981）。

（3人以上の場合）

第1報（田中ら，1984）において……。

Allison *et al.*（1983）は……。

・複数文献：……を受けている（鈴木，1966；佐藤，1979；山本ら，1989）。

・同一著者複数文献：岡村（1980，1981）及び菊池ら（1984a，1984b）による……。

- (4) 引用した文献は本文の末尾に**文献**と記し、第1著者姓のアルファベット順に並べる。第1著者が同じ場合は著者数1名、2名、3名以上、の順。著者数1名が数編あるときは発行年順、同年はa, bを付ける。著者数2名が数編あるときは年順、同年の場合は共著者のアルファベット順、年・共著者が同じ場合はa, bを付ける。著者3名以上が数編あるときは年順、同年はa, bを付ける。

例：A（2006）：……

A and C（1999）：……

A and B（2001a）：……

A and B（2001b）：……

A and E（2001）：……

A, B, C and D（2003a）：……

A, B and E（2003b）：……

- (5) 英文引用文献の著者は姓名の順とし、2名以上の場合には最後の著者をandでつなげる。なお、著者が6名以上の場合には、ほか（和文原稿）または*et al.*（英文原稿）と記載し、6番以降の著者を省略して記載しても良い。

- (6) 引用文献が雑誌に掲載されている場合の記載項目、記号の使い分けは以下の例にしたがい、次の順序で記載する。英文雑誌名はイタリック、巻数はゴシックとする。

著者名（西暦年）：表題。雑誌名、巻（号）、

引用ページ、doi情報。（doiがある場合）。

例：Aniya, M. (2017): Glacier variations of Hielo Patagónico Norte, Chile, over 70 years

from 1945 to 2015. *Bull. Glaciol. Res.*, **35**, 19–38, doi.org/ 10.5331/ bgr.17R01.

伊豆田久雄, 生頼孝博, 山本英夫 (1988) : 凍土の曲げ条件下における変形挙動と強度特性. *雪氷*, **50** (1), 25–32.

Pedley, M., Paren, J.G. and Potter, J.G. (1988): Localized basal freezing within George VI Ice Shelf, Antarctica. *J. Glaciol.*, **34**, 71–77.

Nakaya, U. and Kuroiwa, D. (1967): Physical properties and internal structure of Greenland snow. *Physics of Snow and Ice (Proceedings of the International Conference on Low Temperature Science)*, Part 2, edited by H. Ôura, Sapporo, The Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, 953–971.

Warren, S.G. and Brandt, R.E. (2008): Optical constants of ice from the ultraviolet to microwave: a revised compilation. *J. Geophys. Res.*, **113**, D14220, doi: 10.1029/2007JD009744.

- (7) 単行本を引用する場合および引用文献が単行本に記載されている場合は以下の例にしたがう。英文単行本名はイタリックとする。著者ではなく編者を示す場合や再版した本を参照する場合も以下の例にしたがう。なお、英文の単行本で、編者が1名の場合はed.を編集者名の後に加えること。

著者名（西暦年号）：表題。単行本名、編集者名、発行地、発行所、引用ページ。（全頁の場合は全頁pp.とする。この場合、表題は省略可）。

例：Bamber, J.L. and Payne, A.J. eds. (2004): *Mass balance of the Cryosphere*. Cambridge, Cambridge University Press, 644 pp.

Duval, P. and Montagnat, M. (2006): Physical deformation modes of ice in glaciers and ice sheets. *Glacier science and environmental change*, edited by P.G. Knight, Malden, Blackwell Publishing, 303–308.

Hobbs, P.V. (1974): *Ice physics*. Oxford, Oxford University Press, reprinted in 2010, 837 pp.

社団法人日本雪氷学会編（2010）：積雪観測ガイドブック，東京，朝倉書店，136 pp.

竹内由香里, 山口 悟 (2010) : 積雪断面観測. 積雪観測ガイドブック, 社団法人

日本雪氷学会編，東京，朝倉書店，
31-53.

- (8) インターネットに掲載されている文献を引用する場合，以下の例にしたがい，次の順で記載する。なお，インターネットに掲載されている文献を引用せずに，その存在だけを示す場合には，本文中に直接 URL を記載してもよい。脚注の使用は避けること。

例：気象庁（2005）：気象観測統計指針．気象観測統計の解説，127 pp. http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetu/shishin/shishin_all.pdf（2017.07.20 閲覧）。

- (9) 引用雑誌名を略記する場合には，他の専門分野の者にもよくわかるように注意すること。科学技術情報流通技術基準（SIST）（http://sti.jst.go.jp/sist/menu_purpose/index.html）に準ずることが望ましい。勝手な省略をせずに不明な場合には全部書き出すこと。

5. 英文原稿

英文作成に当たっては，英文の書き方に関する参考書などを十分利用し，あらかじめ文章，内容とも校閲を受けておくこと。

6. 転載許可

他の文献からの文章，図，表をそのまま転載する場合は，著作権者から書面による許可を前もって受け，投稿原稿には許可書のコピーを必ずつけること。ただし，本学会の出版物に掲載

された自分の著作物に関しては不要。

7. 最終投稿の書式指定（査読付原稿）

原稿は執筆要領 1 に示した所定の印刷書体で記載されていること。所定の書体で記載されていない場合は，印刷物に以下の指定をすること。

- ① 印刷書体を朱書する。

ゴシック (5. まとめ) : 5. まとめ [波線 : 章・巻数]

イタリック (*etal.*) : *et al.* [下線 : 変数・学名]

立体 (AB) : AB [カギ付上線 : 記号・関数]

スモールキャピタル (KOBAYASHI) :

Kobayashi [2 重下線 : 姓]

キャピタル (SEPPYO) : seppyo [3 重下線]

下付き添字 (X_q) : X_q [逆 V 型 : 添字]

上付き添字 (x^2) : x^2 [V 型 : 指数]

- ② ギリシャ文字は明瞭に書き，とくにローマ字とまぎれやすい文字にはギ（朱書）の記号で指定する。必要に応じてカナ（朱書）をふる。

- ③ 本文には脚注をなるべく用いないように留意する。使用の際には * をつけ，その下に朱線を引いて注を記入し，左欄外に脚注と朱書する。

8. その他

「雪氷」各巻 1 号（1 月号）には，投稿票・著作権譲渡承諾書を含めた投稿規程が掲載される。投稿規程・執筆要領・投稿票・著作権譲渡承諾書の最新版は下記 URL の「雪氷」ホームページで入手可能である。

<http://www.seppyo.org/seppyo/wausj6>

「雪氷」投稿票 (査読付原稿用)

日本雪氷学会 雪氷編集委員会

著者記入日: 年 月 日

受付番号	担当委員	原稿種類	<input type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> 速報 <input type="checkbox"/> 研究ノート <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 解説 <input type="checkbox"/> 総説 <input type="checkbox"/> 討論 <input type="checkbox"/> 最近の研究から <input type="checkbox"/> 講座		
表題	(和文)				
	※表題が20字以上のとき	(省略題: 20字以内)			
表題	(英文)				
	※表題が10語以上のとき 和文原稿の場合は不要	(省略題: 10語以内)			
主著者(所属)	(和文) 氏名: (他名) 所属:				
	(英文) (論文等の場合) 氏名: 所属:				
校正刷の送付先	・主著者 氏名: TEL: FAX: e-mail: 宛先: 〒 () ・主著者不在の時 期間 (~) 代行者名: TEL: FAX: e-mail: 宛先: 〒 ()				
原稿	・原稿文 枚, 図 枚, 表 枚 (原稿文は表紙・文献・図表説明含む) ・電子媒体: <input type="checkbox"/> e-mail 添付ファイル <input type="checkbox"/> その他 () ・ファイル形式: <input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> その他 ()				
別刷所要部数	部 但し希望する場合は最低 30 部以上とする				
掲載原稿 PDF ファイル	<input type="checkbox"/> 提供希望				
投稿料・別刷代請求先が主著者と異なる場合	氏名: TEL: FAX: e-mail: 宛先: 〒 ()				
本文が和文の場合の英文要旨の校閲	<input type="checkbox"/> 済んでいます <input type="checkbox"/> 英文校閲業者の紹介希望 (費用は著者負担となります)				
備考 (著者より)					
著者チェック欄	<input type="checkbox"/> 本投稿票を添付していますか <input type="checkbox"/> 原稿文・図・表の枚数を確認して下さい <input type="checkbox"/> 図表の書き方, 大きさ, 挿入箇所指定等執筆要領に従っていますか <input type="checkbox"/> 論文等の場合, 要旨 (英・和文) があり, 語数・字数は制限内ですか <input type="checkbox"/> 文献の書き方は執筆要領に従っていますか <input type="checkbox"/> 文献は, 本文中の引用と本文末尾の文献リストで整合していますか <input type="checkbox"/> 主著者不在の場合, その期間と主著者代行者の送付先を記入していますか <input type="checkbox"/> ファイルの形式, ファイル名およびファイル容量は投稿規程 4-1, 4-2 および 4-4 に従っていますか (ファイル名: 原稿種類_著者名_日付_原稿 (投稿票など) .doc) ※送信メールの表題には【雪氷投稿】を先頭につけるようお願いします ※投稿先: 雪氷編集局 seppyo-editor@seppyo.org			編集委員会使用欄	
	<input type="checkbox"/> 著作権譲渡承諾書に自筆署名し PDF ファイルで電子メール送信 (または郵送) して下さい ※郵送の場合は雪氷編集委員長宛 (最新号の最終頁参照) をお願いします				
				受付日	年 月 日
				改稿受付日	年 月 日
				再改稿受付日	年 月 日
				再々改稿受付日	年 月 日
				受理日	年 月 日
			討論期限	年 月 日	
			掲載巻号	巻 号	

「雪氷」投稿票（一般原稿用） 日本雪氷学会 雪氷編集委員会

著者記入日： 年 月 日

原稿種類	<input type="checkbox"/> 雪氷写真館 <input type="checkbox"/> 雪氷機関ニュース <input type="checkbox"/> シンポジウム報告 <input type="checkbox"/> 研究の道標 <input type="checkbox"/> エッセー <input type="checkbox"/> 談話室 <input type="checkbox"/> 滞在記 <input type="checkbox"/> こぼれ話 <input type="checkbox"/> 質問箱 <input type="checkbox"/> 新刊紹介 <input type="checkbox"/> 会員の広場 <input type="checkbox"/> 支部だより <input type="checkbox"/> 分野ニュース <input type="checkbox"/> 巻頭言 <input type="checkbox"/> 囲み記事（集会案内、教官公募等） <input type="checkbox"/> 学会記事 <input type="checkbox"/> 学術会議だより <input type="checkbox"/> 雪氷関係行事予定 <input type="checkbox"/> 編集後記 <input type="checkbox"/> その他 [] （□は■等に変えて下さい）					
	表題 <hr/> 主著者 氏名： (他 名) 所属： （雪氷写真館は英文表題・氏名・所属も必要）					
校正刷の送付先	・ <u>主著者</u> 氏名： TEL： FAX： e-mail： 宛先：〒 () ・ <u>主著者不在の時</u> 期間 (~) 代行者名： TEL： FAX： e-mail： 宛先：〒 ()					
原稿	・原稿文 枚, 図 枚, 表 枚（原稿文は表紙・文献・図表説明含む） ・電子媒体： <input type="checkbox"/> e-mail 添付ファイル <input type="checkbox"/> その他 () ・ファイル形式： <input type="checkbox"/> WORD <input type="checkbox"/> その他 ()					
別刷所要部数	部 但し希望する場合は最低 30 部以上とする					
掲載原稿 PDF ファイル	<input type="checkbox"/> 提供希望					
別刷代請求先が主著者と異なる場合	氏名： TEL： FAX： e-mail： 宛先：〒 ()					
著者チェック欄	<input type="checkbox"/> 本投稿票を添付していますか <input type="checkbox"/> 原稿文・図・表の枚数を確認して下さい <input type="checkbox"/> 図表の書き方、大きさ、挿入箇所の指定等執筆要領に従っていますか <input type="checkbox"/> 主著者不在の場合、その期間と主著者代行者の送付先を記入していますか <input type="checkbox"/> ファイルの形式、ファイル名およびファイル容量は投稿規程 4-1、4-2 および 4-4 に従っていますか（ファイル名：原稿種類_著者名_日付_原稿（投稿票など）.doc） ※送信メールの表題には【雪氷投稿】を先頭につけるようお願いします ※投稿先：一般原稿担当者あるいは雪氷編集局 seppy-editor@seppy.org <input type="checkbox"/> 著作権譲渡承諾書に自筆署名し PDF ファイルで電子メール送信（または郵送）して下さい ※郵送の場合は雪氷編集委員長宛（最新号の最終頁参照）をお願いします				編集委員会使用欄 （編集委員の方で記入可能な分を埋めて下さい）	
					受付日	年 月 日
					改稿受付日	年 月 日
					掲載巻号	巻 号
				担当委員		

著作権譲渡承諾書

公益社団法人 日本雪氷学会
雪氷編集委員会 殿

原稿タイトル名：

全著者名：

上記の原稿は、今までに他の雑誌・書籍に掲載されたり、投稿中でないことを誓約いたします。また他の著作物の著作権を侵害していないこと、著作権許諾が必要な引用については無償での転載許可を書面で得ていることを誓約します。

この原稿が「雪氷」に掲載された場合は、日本雪氷学会著作権規程のとおり、その著作権を日本雪氷学会に譲渡することに同意します。

なお、この著作権譲渡の承認に関して、他の共著者全員の同意を得ていることを保障いたします。

代表者署名： _____ (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

(署名は自筆でお願いします。捺印は不要です。原稿投稿時に添付して下さい。)

投稿論文等の査読に関する指針

雪氷編集委員会

日本雪氷学会は雪氷と寒冷に関する広い学問分野にわたる学際的学会で、機関誌「雪氷」はこうした広い分野における情報をすみやかに交換、伝達するために刊行されています。「雪氷」に投稿された原稿の内、論文・速報・研究ノート（以下論文等の総称）は、雪氷や寒冷に関する新しい事実や情報を読者に伝えるもので、査読を経て掲載されます。論文等の査読の目標は、学術的価値のある研究成果を誤り無くかつ読者に分かりやすく学会誌に掲載することです。しかもできる限り早く掲載することが期待されます。この目標を実際に達成するのはなかなか困難ですが、実現に近づける努力は必要で、そのためにこの指針では、査読者、論文等担当編集委員、著者がそれぞれ、査読過程において努力すべき心得を、ガイドラインとして示すものです。

A 査読者

1. 査読者の主な任務は、投稿された論文等の内容に、新しい事実や読者にとって有用な情報が含まれているか否かを判断した上で、明らかな誤りや過不足な点に関して雪氷編集委員会（論文等担当者宛）に意見を提出することです。
2. 査読者は、著者と意見が異なっても、それは論文等を不採用とする理由にはなりません。著者と意見が異なる場合には「討論」として原稿を投稿し、誌上で議論をする道が開かれています。その「討論」が他の読者に価値のある情報を与えることがあります。
3. 査読者は添削者でも共著者でもないので、細かな点での修正の指摘をする必要はありませんが、文章表現上の問題点が多い場合は、日本語や英語の添削を勧告してかまいません。
4. 適切なコメントは、著者にとっても有意義です。よりよい論文を掲載するためのご協力をお願いします。
5. 査読期限を厳守し論文等のすみやかな掲載に努力して下さい。また、出張等で遅れる場合には、担当編集委員と事前に相談して下さい。

B 論文等担当編集委員（以下担当委員）

1. 担当委員の任務は、雪氷編集委員会を代表して著者と査読者の間に立って公平な調整にあたり、論文等の審査を迅速かつ的確に進め、完成原稿をもってゆくことです。
2. 担当委員は、著者と査読者間の単なる連絡者ではありません。査読意見が送られてきたら、査読コメントをよく読み、適切な査読かどうか調べ、過大な修正要求と判断した場合には、修正

要求を削除か変更し、著者に査読意見を送って下さい。

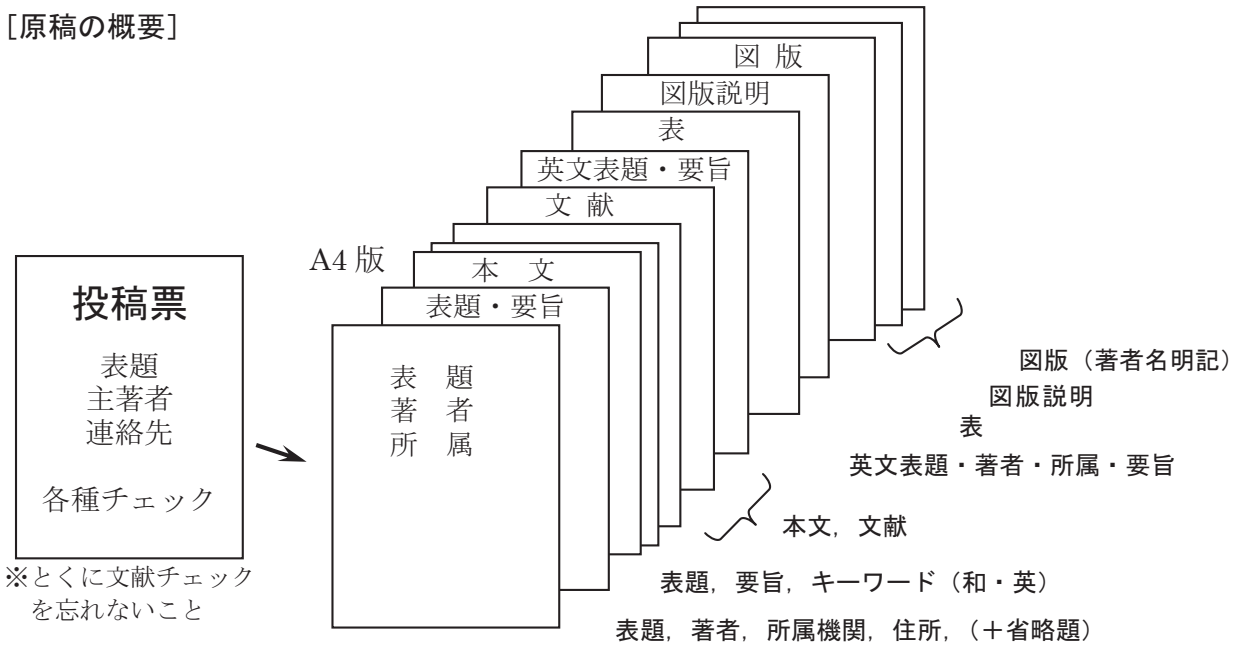
3. 原稿をよく読み、書き方が投稿規程や執筆要領に沿っていない場合には、査読結果を返送する時に著者に指示して下さい。特に、引用文献の書き方には誤りが多いので注意して下さい。
4. 著者から改訂原稿が送られてきたら、査読意見に対する著者の対応が妥当かどうか調べ、不十分であれば著者に戻して、再修正を求めて下さい。
5. 査読者間で掲載可否の判定が決定的に分かれそうな場合は、早めに判断して第3の査読者を決めて下さい。
6. 掲載可否の最終決定は、担当委員と相談の上編集委員長が行います。

C 著者

1. 論文等を投稿するにあたって、読者に新しい事実や情報を分かりやすく伝えるため、誤解されない内容となっているかを、投稿前に共著者などから内容の点検を受けておいて下さい。査読者は添削者ではありません。
2. 担当委員も添削者ではないので、原稿が投稿規程及び執筆要領に沿って書かれているか否かを十分確認してください。書き方は、学会誌に掲載された論文等も参考になります。「雪氷」投稿票の著者チェック欄に従い、原稿のチェックを行って下さい。
3. 査読者はボランティアで貴重な時間を費やし査読したことを認識し、著者は速やかに査読コメントに回答するよう心掛けて下さい。

編集流れ図

[原稿の概要]



[原稿の投稿から印刷までの流れ]

